



TCR JAPAN OFFICIAL MAGAZINE

Passionate

2022 TCR JAPAN OFFICIAL INFORMATION





TCR JAPAN OFFICIAL MAGAZINE

Passionate

2022 TCR JAPAN OFFICIAL INFORMATION

年を追うごとに世界中に広がりを見せる「TCR Series」。
その魅力を、関わる人、組織、マシン、ドライバー、チームほか全てを通じて
情熱を持って表現したいという思いをのせたTCR Japan Series オフィシャルマガジン「Passionate」。
今回は特別編として、TCR Japan 2022 年シリーズの情報をお届けします。

TCR JAPAN OFFICIAL MAGAZINE "Passionate"
<https://tcr-japan.jp/magazine.html>



世界中に広がりつつあるTCRシリーズ

2リッター以下のターボエンジンをベースに作られているFWD車をベースにした、4ドアまたは5ドアの新世界規格マシンを使用したレースです。

2015年創設以降、世界各地で人気を博し、各国のジェントルマンドライバーが、この価格と性能のバランスのとれた「純レーシングカー」による、

ハイレベルなモータースポーツを楽しんでいます。

ヨーロッパを中心に広がりを見せ、近年ではアジア各国およびアジア選手権も設定されるなど、各地域との交流も可能な、将来性の高いモータースポーツプログラムです。



順位を競うというレース本来の魅力は最大限に

各マシンは、TCR を統括するWSC 社によってイコールコンディションに性能調整されるため、TCR スプリントシリーズは「サイドバイサイド」のエキサイティングなレースが展開されています。その結果マシンを操るもののみならず観客をも魅了する価値の高いモータースポーツとして世界各地で賑わいを見せています。



ツーリングカーレースの世界を繋ぐ力を持つTCRシリーズ

TCR は各国、各地域、さらにはワールドワイドなツーリングカーカップまで

ほぼ同等のレギュレーションで統括管理されており、

ドライバーやチームの意思で国や地域をまたがってレースを楽しむことができる

将来性の高い仕組みが確立されています。

地域を越えて連携できる唯一のツーリングカーレース、それが「TCR シリーズ」と言えます。



カスタマーレーシングの理想形を体現するレース環境

110,000 ユーロから130,000 ユーロという魅力的な価格帯で提供されるTCR マシンは、「カスタマーレーシング」をカバーするには最適な車両コストであり、若手ドライバーからシニアドライバーまでの幅広いニーズを満たしています。世界共通レギュレーションということもあり、広い範囲で交流できることも多彩なエントラントを集めている要因です。

BASICS OF TCR JAPAN

CUSTOMER RACING & BALANCE OF PERFORMANCE





完成されたマシンを購入するだけでレースができる。

4ドアまたは5ドアをベースにした量産車を対象に、1,750cc 以上2,000cc 未満のシングルターボエンジン、前輪駆動 (FWD)、最大出力350hp 程度のマシンを仕上げ、争われるカスタマーレーシング。

マシンを、自動車メーカーあるいは指定マニファクチャーが生産、全世界のプライベーターチームに販売・供給・サポートを行う形式で現在世界中にトレンドを巻き起こしているモータースポーツ。

完成されたマシンを購入するだけでレースができるので、ジェントルマンドライバーにとって無駄な開発競争が避けられ、プライベーターにとって参入しやすい規格となっています。

BoP (バランス・オブ・パフォーマンス) による性能調整で、どのメーカーのマシンでも同等の性能になることで各メーカーのマシンの性能を平等に設定しています。

BoP 調整はメーカー同士の過度なマシン開発競争を抑えることにも繋がり、プライベーターが安価にレースにエントリーできることも人気の理由の一つです。

TCR ではマニファクチャーがタイトルを競い合うという従来のレースとは異なり、プライベーター専用のレースカテゴリーとなっています。

また、TCR ジャパンシリーズにおいては、さらにジェントルマン専用のスポーティングレギュレーションにより、いわゆるトッププロは参戦できない制限が施されています。



参加型レースの新たなカテゴリー カスタマーレーシング。

自動車メーカーが莫大な開発費を投入してその性能をアピールしていた時代のツーリングカーレースとは真逆に、それぞれのブランドでモータースポーツを楽しみたいジェントルマンのために、メーカーが、マシン、パーツを販売し、その活動のサポートを行う形式のレース活動がカスタマーレーシング。マシンは純粋にモータースポーツを楽しめるまでにチューンアップされ、過度な性能競争ができないようにレギュレーションによって多方面に制限がかかります。メーカーでも、マニファクチャーでもなくジェントルマンドライバーのためのレース、それが「カスタマーレーシング」です。参加車両は4ドアまたは5ドアをベースにした量産車を対象に、1,750cc以上2,000cc未満のシングルターボエンジン、前輪駆動(FWD)、最大出力350hp程度のマシンをWSC社(World Sporting Consulting LTD)が承認し、誰でも購入できるように、定められた期間での最小生産台数が指定されます。世界的には13メーカーのマシンがそれぞれの国と地域で戦っています。そのメーカーとモデルの数は年を追うごとに増加の一途をたどり、現在さらに増え続ける様相を呈しています。



趣味としてレースを楽しむ ジェントルマンドライバー。

FIAドライバーカテゴリーの区分において「プラチナ」のドライバーは、TCR ジャパンシリーズに参加することができません。それらのドライバーはレース活動が仕事であるプロフェッショナルドライバーであり、趣味としてレースを楽しむドライバーとはスキルが異なるからです。TCR ジャパンシリーズでは、趣味としてレースを楽しむウイークエンドパイロットを「ジェントルマンドライバー」と称し、オーバーオール順位とは別に「ブロンズクラス (FIA ドライバーカテゴリー ブロンズ以下)」の区分を設定し、独自に楽しめるシステムを取り入れています。FIA 世界ツーリングカーカップのポジションにあるWTCRには、元F1ドライバーらが顔を揃え、華やかなドライバーラインアップで魅力を提供していますが、それ以外の各国、各地域のTCRシリーズは概ねジェントルマンドライバーのためのレースとして成り立っています。



BoP (性能調整)

TCRを戦うマシンは、そのシリーズを統括するWSC社 (World Sporting Consulting LTD) の技術部門において、BoP (Balance of Performance) と呼ばれる基準でその性能を管理されます。この考え方の根底にあるのは、「性能調整により無駄な開発競争をなくす」「開発に連動して車両価格が高騰することを防ぐ」「どのレースでもサイドバイサイドの白熱したバトルが繰り広げられる」「イコールコンディション化により多くのドライバーに勝つ権利が与えられる」「どの地域、どの国でも多くのメーカーが参加する環境を整えられる」「カスタマーレーシングの成長により、関わる人すべてにメリットがもたらされる」ことが挙げられます。

2021 REVIEW

DRIVERS & STANDINGS



7

DRIVER **KEIICHI INOUE**

TEAM **NILZZ Racing**

MODEL **Audi RS 3 LMS**

Participation : Round.1 FUJI SPEEDWAY | Round.4 TWIN RING MOTEGI



7

DRIVER **JUN MAKINO**

TEAM 麻布ワコーズ ED ニルズ NGK

MODEL **Audi RS 3 LMS**

Participation : Round.5 TWIN RING MOTEGI



10

DRIVER **JUN SATO**
TEAM Adenau IDI GOLF TCR
MODEL **Volkswagen Golf GTI TCR**



17

DRIVER **KENJI SUZUKI**

TEAM **ベースレーシングプロジェクト【BRP】**

MODEL **Audi RS 3 LMS**



18

DRIVER **TAKESHI MATSUMOTO**

TEAM **バースレーシングプロジェクト【BRP】**

MODEL **Volkswagen Golf GTI TCR**

Participation : Round.3 Sportsland SUGO



19

DRIVER HIROBON

TEAM バースレーシングプロジェクト【BRP】

MODEL CUPRA TCR



21

DRIVER **YUKI FUJII**
TEAM Audi Team Hitotsuyama
MODEL **Audi RS 3 LMS**
Participation : Round.1 FUJI SPEEDWAY



21

DRIVER **TAKURO SHINOHARA**

TEAM Audi Team Hitotsuyama

MODEL **Audi RS 3 LMS**

Participation : Round.3 Sportsland SUGO



45

DRIVER **NAOTO TAKEDA**

TEAM 若甦ドリームドライブ with KCMG

MODEL **Honda CIVIC TCR**

Participation : Round.1 FUJI SPEEDWAY



45

DRIVER **TAKUYA SHIRASAKA**

TEAM 若甦ドリームドライブ with KCMG

MODEL **Honda CIVIC TCR**

Participation : Round.2 AUTO POLIS



55

DRIVER **MOTOTINO**
TEAM 55MOTO RACING
MODEL **Honda CIVIC TCR**

Participation : Round.3 Sportsland SUGO | Round.4 & 5 TWIN RING MOTEGI | Round.6 SUZUKA Circuit



62

DRIVER **RESSHU SHIOYA**

TEAM 全薬工業 with TEAM G/MOTION'

MODEL **Honda CIVIC TCR**

Participation : Round.5 TWIN RING MOTEGI | Round.6 SUZUKA Circuit



65

DRIVER **MASANOBU KATO**

TEAM **Audi Team Mars**

MODEL **Audi RS 3 LMS**



71

DRIVER **MASAYOSHI OYAMA**

TEAM **ダイワN 通商アキランド CIVIC**

MODEL **Honda CIVIC TCR**



73

DRIVER **MINEKI OKURA**
TEAM **M-PROTOTYPING Team STILE CORSE**
MODEL **ALFA ROMEO GIULIETTA Veloce TCR**



97

DRIVER **AKIHIKO NAKAYA**

TEAM **DOME RACING**

MODEL **Honda CIVIC TCR**

Participation : Round.1 FUJI SPEEDWAY



97

DRIVER **AI MIURA**

TEAM **DOME RACING**

MODEL **Honda CIVIC TCR**

Participation : Round.2 AUTO POLIS | Round.3 Sportsland SUGO



97

DRIVER YUSUKE SHIOTSU

TEAM DOME RACING

MODEL **Honda CIVIC TCR**

Participation : Round.4 TWIN RING MOTEGI



98

DRIVER ANNA INOTSUME

TEAM DOME RACING

MODEL **Honda CIVIC TCR**

Participation : Round.5 TWIN RING MOTEGI | Round.6 SUZUKA Circuit



101

DRIVER **YUKI FUJII**
TEAM Audi Team Hitotsuyama
MODEL **Audi RS 3 LMS**
Participation : Round.4 TWIN RING MOTEGI



2021 POINT STANDINGS

2021 DRIVER STANDINGS

SATURDAY SERIES OVERALL POINT STANDINGS

| pos | car No. | Driver | Total points |
|-----|---------|-------------------|--------------|
| 1 | 19 | HIROBON | 120 |
| 2 | 65 | MASANOBU KATO | 80 |
| 3 | 73 | MINEKI OKURA | 72 |
| 4 | 62 | RESSHU SHIOYA | 43 |
| 5 | 17 | KENJI SUZUKI | 41 |
| 6 | 10 | JUN SATO | 38 |
| 7 | 71 | MASAYOSHI OYAMA | 36 |
| 8 | 7 | KEIICHI INOUE | 34 |
| 9 | 18 | TAKESHI MATSUMOTO | 30 |
| 10 | 55 | MOTOTINO | 29 |
| 11 | 98 | ANNA INOTSUME | 27 |
| 12 | 97 | AI MIURA | 23 |
| 13 | 97 | YUSUKE SHIOTSU | 22 |
| 14 | 45 | TAKUYA SHIRASAKA | 17 |
| 15 | 21 | TAKURO SHINOHARA | 16 |
| 16 | 97 | AKIHIKO NAKAYA | 15 |
| 16 | 101 | YUKI FUJII | 15 |
| 18 | 45 | NAOTO TAKEDA | 12 |
| 19 | 21 | YUKI FUJII | 6 |
| 20 | 7 | JUN MAKINO | 2 |

SUNDAY SERIES OVERALL POINT STANDINGS

| pos | car No. | Driver | Total points |
|-----|---------|-------------------|--------------|
| 1 | 19 | HIROBON | 126 |
| 2 | 65 | MASANOBU KATO | 100 |
| 3 | 18 | TAKESHI MATSUMOTO | 60 |
| 4 | 73 | MINEKI OKURA | 48 |
| 5 | 21 | TAKURO SHINOHARA | 41 |
| 5 | 71 | MASAYOSHI OYAMA | 41 |
| 5 | 55 | MOTOTINO | 41 |
| 8 | 62 | RESSHU SHIOYA | 32 |
| 9 | 97 | AI MIURA | 31 |
| 10 | 101 | YUKI FUJII | 29 |
| 11 | 97 | YUSUKE SHIOTSU | 23 |
| 11 | 98 | ANNA INOTSUME | 23 |
| 11 | 17 | KENJI SUZUKI | 23 |
| 14 | 7 | KEIICHI INOUE | 18 |
| 15 | 21 | YUKI FUJII | 17 |
| 16 | 10 | JUN SATO | 13 |
| 17 | 97 | AKIHIKO NAKAYA | 8 |
| 18 | 45 | NAOTO TAKEDA | 4 |
| 19 | 7 | JUN MAKINO | 1 |

2021 ENTRANT STANDINGS

ENTRANT POINT STANDINGS

| pos | car No. | Entrant | Total points |
|-----|---------|----------------------------|--------------|
| 1 | 19 | BIRTH RACING PROJECT (BRP) | 246 |
| 2 | 65 | Audi Team Mars | 180 |
| 3 | 97 | DOME RACING | 122 |
| 4 | 73 | STILE CORSE | 120 |
| 5 | 18 | BIRTH RACING PROJECT (BRP) | 90 |
| 6 | 21 | Audi Team Hitotsuyama | 80 |
| 7 | 55 | 55MOTO RACING | 79 |
| 8 | 71 | AKILAND RACING | 77 |
| 9 | 62 | TEAM G/MOTION' | 75 |
| 10 | 17 | BIRTH RACING PROJECT (BRP) | 64 |
| 11 | 7 | NILZZ Racing | 55 |
| 12 | 10 | Adenau | 51 |
| 13 | 98 | DOME RACING | 50 |
| 14 | 101 | Audi Team Hitotsuyama | 44 |
| 15 | 45 | Team DreamDrive | 31 |

2021 MODEL OF THE YEAR

CUPRA TCR

2022 INFORMATION

RACE FORMAT & CALENDAR | TOPICS



レースフォーマット | Saturday Series / Sunday Series

金曜日 | オフィシャルプラクティス
土曜日 Saturday Series | 公式予選15分 / 決勝レース23分+1LAP
日曜日 Sunday Series | 公式予選15分 / 決勝レース23分+1LAP

各レース賞典 | 上記シリーズともにオーバーオール / ブロンズクラス 各1位~3位
シリーズ賞典 | 上記シリーズともにオーバーオール / ブロンズクラス 各1位~3位
エントラント賞 | ゼッケンに紐づいてSaturday Series / Sunday Seriesの合計ポイント上位3チーム
Model of the year | エントラントチャンピオンチームが使用したモデルに対して設定

2022 RACE CALENDAR

| ROUND | DATE | CIRCUIT | EVENT |
|-------|-----------------------|-------------|--|
| 1 | 4/8-10 [fri-sun] | 富士スピードウェイ | 2022年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦 |
| 2 | 6/25-26 [sat-sun] | 岡山国際 サーキット | 2022年 OKAYAMAチャレンジカップレース 第4戦 |
| 3 | 7/23-24 [sat-sun] | スポーツランドSUGO | 2022 SUGOチャンピオンカップレースシリーズ Round 4 |
| 4 | 8/19-21 [fri-sun] | ツインリンクもてぎ | 2022年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦 |
| 5 | 9/9-11 [fri-sun] | 富士スピードウェイ | 2022 FIA World Endurance Championship 6 Hours of FUJI |
| 6 | 10/28-30 [fri-sun] | 鈴鹿サーキット | 2022年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第7戦 |

● 暫定レースカレンダー (JAF公示後に正式カレンダーを発表)



コントロールタイヤは「DUNLOP」に

TCR Japan Series では2022年シーズンより、ワンメイクタイヤ供給元として「ダンロップ」ブランドと契約。優れたグリップ性能と高い耐久性を実現した専用タイヤでドライバーの足元を支えます。



2022 TCR New Model Information

Audi RS 3 LMS

2022年日本のサーキットでも目にすることができるかもしれないニューモデル登場。

Audi Sport customer racing 統括責任者のクリス ラインケは、次のように述べています。「最新モデルを開発するにあたり、お客様に焦点を合わせた目標を設定しました。私たちは、ラップタイム、セットアップオプション、安全性、エルゴノミクス（人間工学）等あらゆる面において、先代より優れたモデルをカスタマーチームに提供したいと考えています」この第2世代のAudi RS 3 LMSは、2つの目標を達成するために、すべての面において新開発されました。その目標とは、市販モデルをベースにしたエントリーレベルのレースカーをさらに改善すること、そしてあらゆる領域でお客様のメリットを最適化することです。このような改良にもかかわらず、このニューモデルの価格およびメンテナンスコストは適切な金額に抑えられ、より高い安全性を実現し、250kW(340hp)の最高出力によって、より優れたドライビングプレジャーを提供します。

TCR JAPAN OFFICIAL MAGAZINE

Passionate

2022 TCR JAPAN OFFICIAL INFORMATION

[Head office]

日本 TCR マネジメント株式会社「TCRJ」

TEL:03-3237-0132 FAX:03-3237-0135

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-25

[Secretariat | レース事務局]

ニューパシフィック スポーツ マーケティング株式会社

TEL:03-6411-6201 FAX:03-6805-9066

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 6-18-18



OFFICIAL WEBSITE

<https://tcr-japan.jp/index.html>



TCR JAPAN OFFICIAL MAGAZINE "Passionate"

<https://tcr-japan.jp/magazine.html>



Twitter

<https://twitter.com/TCRJapanseries/>



Facebook

<https://www.facebook.com/TCRJJapanSeries/>